

医療のための危機管理とクライシス・コミュニケーションに関する世界会議

Global Forum of Crisis Management and Crisis Communication for Health Care

－ 医療安全・感染症・災害における医療の危機管理とコミュニケーション －

(最終確定版)

会場：2010年11月1日(月)～11月2日(火) (受付開始) 1日:午前9時、2日:午前8時

会場：東京大学医学部本郷キャンパス 東京都文京区本郷7-3-1。

地下鉄丸の内線本郷三丁目駅徒歩10分。東大赤門付近。

主催：国際予防医学リスクマネジメント連盟 (URMPM)

受講対象者：医療従事者、医科医療安全管理者、歯科医療安全管理者、リスクマネージャー、医薬品安全管理者、医療機器安全管理者、感染対策担当者、災害・救急医療関係者、医療事務関係者、医療産業界関係者、危機管理担当者、安全行政担当者、医療産業界関係者、学生、市民、その他

趣旨：医療安全、新型インフルエンザおよび災害に対する、高度な医療に必要な医療機関の危機管理のあり方ならびに医療従事者のクライシス・コミュニケーションに関する世界規模の情報交換を行う。日別の参加。基調講演、教育講演、特別講演、関連講演、国際シンポジウムは通訳付き。参加者には受講証を発行します。

2010年11月1日(月)午前10時～午後5時

医療安全のための危機管理とクライシス・コミュニケーション

基調講演 (1) 医療安全のために必要な行政制度 吉田謙一 (東大医法医学・医事法制学教授)

教育講演 ハーバード大学病院における新しい医療安全活動

Richard D. Zane (ハーバード大学救急医学准教授、ボストン、米国)

特別講演 弁護士から見た医療事故でのクライシスコミュニケーション 阿部隆徳 (阪大医招聘教授、弁護士) /

臨床現場での医療コミュニケーション学の現状と課題 荒木登茂子 (九大医療コミュニケーション学教授)

関連講演 ヘルスリテラシーと医療におけるコミュニケーション 市川ひろの (東大医学部医療コミュニケーション学分野准教授)

国際シンポジウム (I) 医療事故の時の医療機関の対応

ワークショップ (日本語セッション) 医療安全に関する多職種間の院内ネットワーク検討委員会の設立大会

一般演題のポスター発表

2010年11月2日(火)午前9時～午後6時

感染症・災害の危機管理とクライシス・コミュニケーション

URMPM 2012年世界総会会長講演

院内感染・医療事故に関する札幌医科大学病院の取り組み 島本 和明 (札幌医科大学 学長)

基調講演 (2) 薬剤耐性菌と院内感染対策 (仮題)

一山 智 (京大病院副院長・感染制御部教授、国立大学付属病院感染対策協議会会長)

教育講演 災害の危機管理 (仮題) 目黒 公郎 (東大生産技術研究所都市基盤安全工学国際研究センター長、教授)

特別講演 緊急事例での医療機関のための危機管理とクライシスコミュニケーション (Richard D. Zane、ハーバード大学救急医学准教授、ボストン、米国) / IRGCの危機管理医学への応用 (David Urbach、国際リスク・ガバナンス委員会・上級顧問、ジュネーブ、スイス) / 危機管理に関するOECDの最近の活動 (中谷好江、OECD東京センター・所長) / 災害医療での国際活動の現状と問題点 (浅井 康文、札幌医科大学急集中治療部教授、JICA国際緊急援助隊医療チーム支援委員会委員長)

国際シンポジウム (II) 感染症の危機管理とクライシス・コミュニケーション

国際シンポジウム (III) 院内感染症対策の現状と課題

国際シンポジウム (IV) 災害時の医療の危機管理とクライシスコミュニケーション

一般演題の口演発表ならびにポスター発表

参加申込の締め切り：2011年10月20日

参加申込は定数(350名)になり次第、締め切ります。

参加費は下記ホームページに掲載した申込書をご覧ください。

医療のための危機管理とクライシス・コミュニケーションに関する世界会議 事務局

国際予防医学リスクマネジメント連盟本部

〒113-0033 東京都文京区本郷4-7-12-102

〒113-0033 東京都文京区本郷4-36-2-103

(Tel / Fax) 03--3817-6770

(電子メール) jsrmpm-office@umin.net

会議ホームページ (日本語版) : <http://www.urmpm.org/JCrisisMan2010/>